

2. 協議会運営について

1) 成果報告会終了時のアンケート調査結果

ニーズ・シーズ連携協調協議会の運営状況を把握するため、協議会委員長を対象とした質問紙によるアンケート調査を、成果報告会終了後に実施した。主な調査項目は、P Cや推進委員会の関わり、協議会のメンバー構成や議論の効果性、今後のプロジェクト継続の必要性などからなる13項目とした（表iv-2-1）。なお、回答は5件法（①非常にそう思う、②そう思う、③どちらともいえない、④あまり思わない、⑤まったく思わない）にて行うこととした。アンケートの回収率は100%であった。結果の詳細については、以下に示す。

表iv-2-1 47協議会委員長を対象としたアンケート調査項目

①今年度、貴協議会運営全体をとおしてP Cは、効果的だったと思いますか？
②課題の分析においてP Cのアドバイスは、効果的だったと思いますか？
③課題解決策の検討の過程においてP Cのアドバイスは、効果的だったと思いますか？
④仮想モデルの設計の過程においてP Cのアドバイスは、効果的だったと思いますか？
⑤シミュレーションの過程においてP Cのアドバイスは、効果的だったと思いますか？
⑥新規ロボットの提案の過程においてP Cのアドバイスは、効果的だったと思いますか？
⑦事業説明会の内容とプログラムは、協議会を運営するうえで効果的だと思いますか？
⑧推進委員会によるアドバイスなどについては、協議会を運営するうえで効果的だったと思いますか？
⑨貴協議会による今回の提案（アイデア）は、今後の開発につながると思いますか？
⑩協議会のメンバー構成は、課題を検討するうえで効果的と思いましたか？
⑪貴協議会でのディスカッションは、活発だったと思いますか？
⑫成果報告会におけるプレゼンテーションやディスカッションは、よかったと思いますか？
⑬今後このような取り組みは、さらに継続して普及させるべきと思いますか？

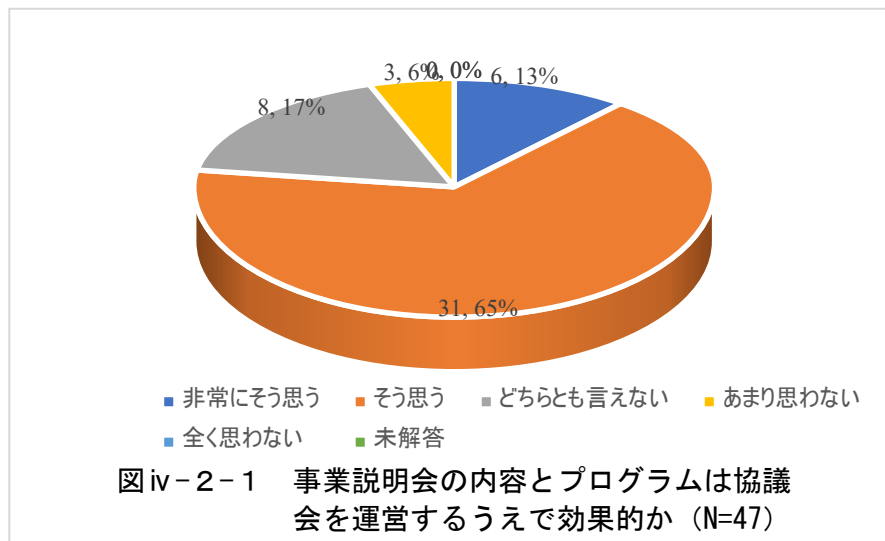
※仮想モデルの設計の過程は、詳細を分析するため設計とシミュレーションの過程に分けて質問した

（1）協議会運営全体を通じたP Cの効果について（図iii-3-1を参照）

（2）協議会の各プロセスにおけるP Cのアドバイスの有用性について（図iii-3-1を参照）

（3）事業説明会の内容とプログラムは、協議会を運営するうえで有用であったかについて

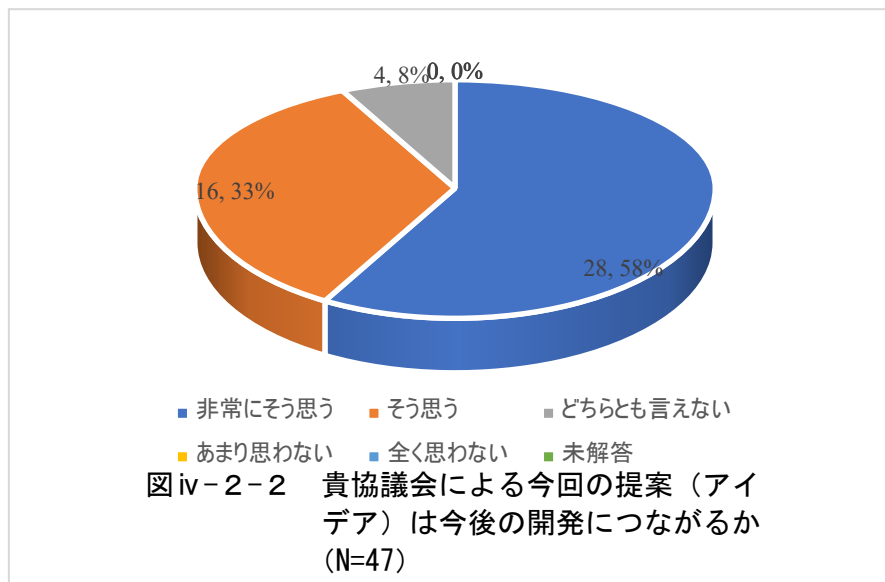
「事業説明会の内容とプログラムは、協議会を運営するうえで効果的であったか？」の問いについて、非常にそう思うが12%、そう思うが65%であり、77%の協議会が有効であったと評価している（図iv-2-1）。



(4) 推進委員会によるアドバイスなどの有用性について (図 iii-3-1 を参照)

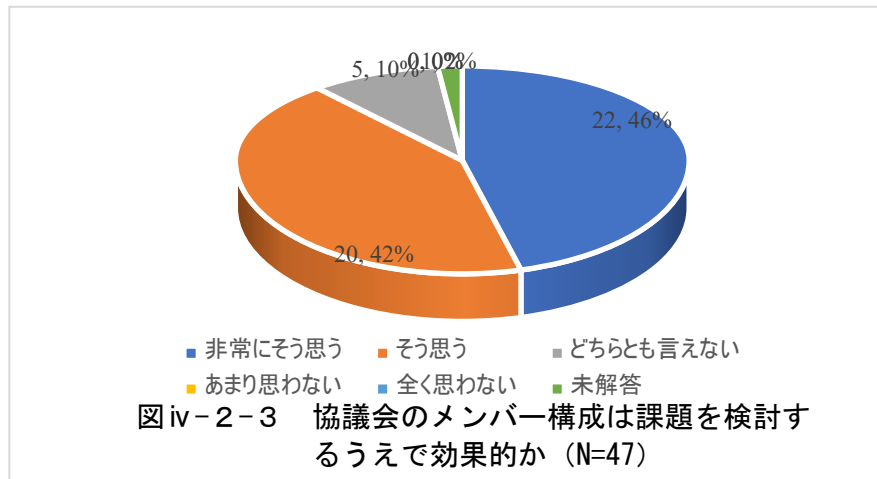
(5) 協議会による今回の提案 (アイデア) における今後の開発可能性について

「貴協議会による今回の提案 (アイデア) は、今後の開発につながると感じますか？」の問いに対して、非常にそう思うが 59%、そう思うが 33%であり、92%の協議会が、今回提案したロボットは今後の開発につながると評価している (図 iv-2-2)。



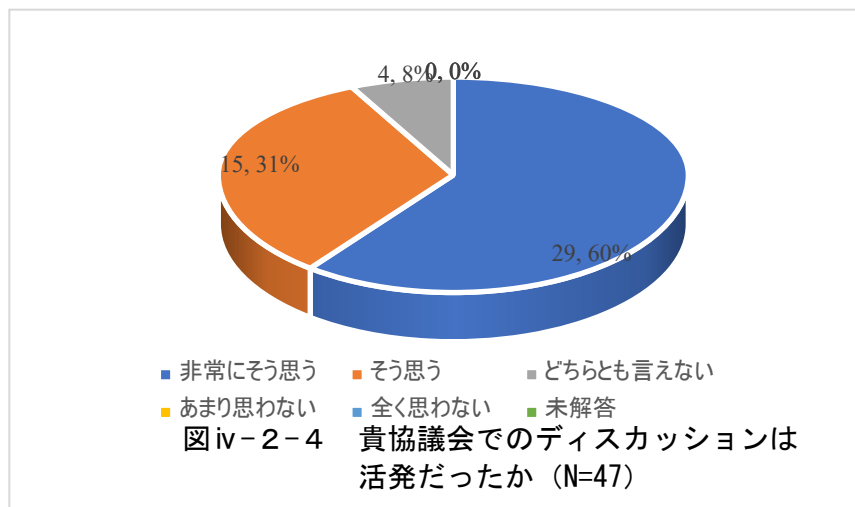
(6) 協議会のメンバー構成について

「協議会のメンバー構成は、課題を検討するうえで効果的だと思いますか？」の問いに対して、非常にそう思うが 46%、そう思うが 42%であり、88%の協議会がメンバー構成は有効であったと評価している (図 iv-2-3)。



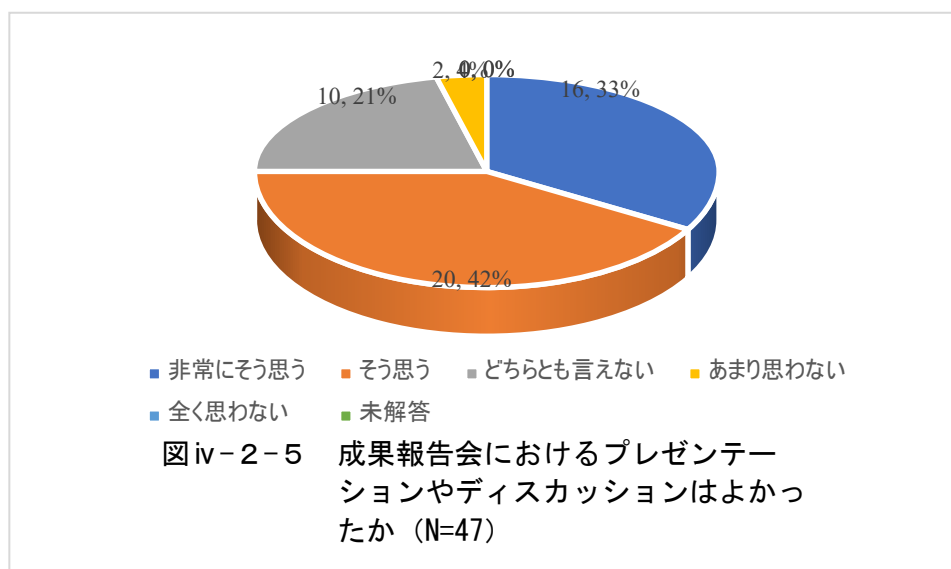
(7) 協議会でのディスカッションの状況について

「貴協議会でのディスカッションは、活発だったと思いますか？」の問いに対して、非常にそう思うが 61%、そう思うが 31%であり、92%の協議会が活発なディスカッションがなされたと評価している（図 iv-2-4）。



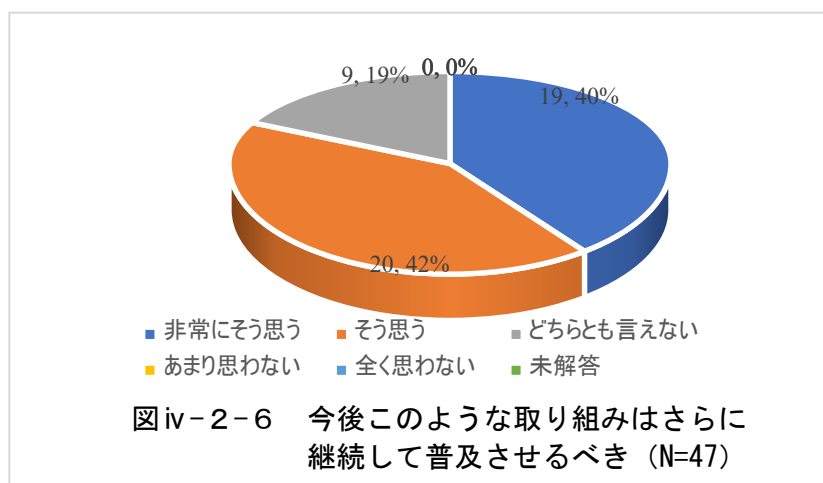
(8) 成果報告会におけるプレゼンテーションやディスカッションについて

「成果報告会におけるプレゼンテーションやディスカッションは、よかったと思いますか？」の問いに対して、非常にそう思うが 33%、そう思うが 42%であり、75%の協議会がプレゼンテーションやディスカッションはよかったと評価している（図 iv-2-5）。



(9) 今後このような取り組みをさらに継続して普及させるべきかについて

「今後このような取り組みはさらに継続して普及させるべきだと思いますか？」の問いに対して、非常にそう思うが39%、そう思うが42%であり、81%の協議会が今後このような取り組みはさらに継続して普及すべきと答えている（図iv-2-6）。



2) まとめ

ニーズ・シーズ連携協調協議会事業の運営について協議会委員長に対し、成果報告会后にアンケート調査を行った。PCや推進委員会の関わり、事務局の運営、協議会メンバーの構成などについて協議会運営上では、有効であったと評価する協議会が多かった。また、協議会でのディスカッションは活発であり、成果報告会におけるプレゼンテーションやディスカッションは、よかったと評価している協議会が多かった。また、今回の提案（アイデア）は、今後の開発につながると思うと評価する協議会も多く、このような取り組みは、さらに継続して普及させるべきと答える協議会が多かった。以上のことから、運営面に関する評価は概ね良好であり、今回蓄積した協議会の運営面

の実績を今後に活かすことができると考えられた。